

特集 北海道 自動車販売

年度末商戦本番 積極的に販促策を展開 増販へ意気込む販売各社

新型効果などで来場は上向き

ジャパンモビリティショー札幌

ジャパンモビリティショー札幌2026(主催IIジャパンモビリティ)が、1月23〜25日に大和ハウスプレミストドーム(札幌市豊平区)で開催された。最終日は札幌市内が記録的な大雪に見舞われたが、3日間で7万6667人が来場し、未来の車を体感した。会場には国内外社22ブランドのコンセプトカーや最新の市販モデル約90台が並んだ。各ブースでは運転席に座って乗り心地や質感を確認する若者や説明員に質問する年

大雪の中でも多数の来場

未来の車を体感

配置、展示車と一緒に記念撮影する家族連れの姿が目立つなど、自動車に対する関心の高さをうかがわれた。

地元ディーラーでは、北海道マツダ(横井隆社長)がバイオディーゼル燃料の普及促進ブースを出展した。バイオ燃料「サステオ」を作るユーグレナと配送する平野石油(平野賢一郎社長、東京都台東区)と協力し、クリーンディーゼルの



コンセプトカーは注目度が高かった



バイオ燃料の取り組みを伝える北海道マツダのブース展示などを通じて、寒冷地における脱炭素社会の実現に向けた取り組みを紹介した。

「未来のモビリティ」ではパーソナルモビリティの試乗会や北海道初上陸の「トヨタミライドロン」「ホンダコライドン」のライド体験などが人気を集めた。

道内ディーラーでは、盛り上がりを見せたジャパンモビリティショー札幌の勢いを年度末商戦に

年度末商戦本番を前に、ディーラーの店舗では商談機会が増えている。



北海道の新車販売市場が、年度末商戦の本番を控え盛り上がりを見せている。2026年は1月の新車販売台数(登録車と軽自動車の合計)が2カ月ぶりのマイナスとなったが、各社の新型車投入や販促イベント開催などの効果もあり、店頭来場者数は増加傾向にある。今年は自動車税環境性能割廃止の影響などで例年とは異なる状況だが、各社は需要拡大に向けて営業活動を強化する構えだ。

昨年の新車市場 2年ぶりプラス

25年1〜12月の道内新車販売台数は、前年比3・0%増の18万6455台となった。一部車種で供給制約が続いたが、メーカーの認証不正の影響で落ち込んだ24年の反動もあり、2年ぶりに前年を上回った。

登録車は同0・6%増の12万4265台、同8・1%増の6万2190台で、いずれも2年ぶりの前年超えだった。

ただ、26年1月は総台数が前年同月比1・9%減の1万2200台で、2カ月ぶりに前年を割り込んだ。軽自動車は同1・5%増の4325台で、13カ月連続のプラスと好調を維持しているが、登録車は同3・6%減の7875台で2カ月ぶりのマイナスとなるなど、

環境性能割廃止の影響を注視して対策

ど明暗が分かれた。今年には台数ベースではスタートダッシュとはならなかったが、ディーラー各社の店頭は新車購入目的の来場客でにぎわいをみせている。

これは1月に大和ハウス(札幌市豊平区)で開催された「ジャパンモビリティショー札幌2026」の効果も大きいと考えられる。国内外ブランドの約90台が並び、3日間で7万人以上を動員したイベントを機にユーザーの購買意欲が高まってきた。

年度末商戦の本番に向けて、ディーラー各社は積極的に販促策を展開している。シヨールームでの週末イベントだけではなく、北海道ならではの雪道試乗会や大型商業施設での出張展示会を企画するなど、需要喚起に余念がない。

環境性能割廃止 影響を注視して対策

販売現場では一層の盛り上がりを見込んでいるが、今年も例年とは異なる様相を呈している。環境性能割の廃止が決まったからだ。

暫定税率の廃止などを追い風に、登録時期が3月末までと4月以降では、車種によっては税負担が10万円以上も変わるケースもある。このため登録時期の先延ばしを希望するユーザーも一定数存在するといわれる。

年度末は最大需要期だけに、計画通りに登録が進まなければ、ディーラーの決算にも影響を与える。販売現場ではユーザーに丁寧に説明し、年度内登録の場合はオプション品の付与といった特典を用意するなど、さまざまな対策を講じて動きもみられるようだ。

ただ、環境性能割の廃止は1月からのガソリン暫定税率の廃止とともに、ユーザーが新車購入を新たに検討するきっかけになることは間違いない。ディーラーにとっては販販への追い風となるだけに、4月以降は持ち越し分の登録が進むことも含めて、新車市場は一層の活性化が見込まれる。

販売現場では一層の盛り上がりを見込んでいるが、今年も例年とは異なる様相を呈している。環境性能割の廃止が決まったからだ。

暫定税率の廃止などを追い風に、登録時期が3月末までと4月以降では、車種によっては税負担が10万円以上も変わるケースもある。このため登録時期の先延ばしを希望するユーザーも一定数存在するといわれる。

年度末は最大需要期だけに、計画通りに登録が進まなければ、ディーラーの決算にも影響を与える。販売現場ではユーザーに丁寧に説明し、年度内登録の場合はオプション品の付与といった特典を用意するなど、さまざまな対策を講じて動きもみられるようだ。

ただ、環境性能割の廃止は1月からのガソリン暫定税率の廃止とともに、ユーザーが新車購入を新たに検討するきっかけになることは間違いない。ディーラーにとっては販販への追い風となるだけに、4月以降は持ち越し分の登録が進むことも含めて、新車市場は一層の活性化が見込まれる。

地球環境に優しいトヨタのBEV

NEW bZ4X

日常をぜんぶ、冒険にしよう。

NEW RAV4

札幌トヨタ

お客様相談テレホン

☎0120-030040

〒060-0001 札幌市中央区北1条西7丁目3-8

札幌市内 近郊店舗

- ◆特販部 ☎011-231-9711
- ◆札幌支店 ☎011-261-3211
- ◆札幌支店サービスセンター ☎011-299-6311
- ◆南5条店 ☎011-533-6311
- ◆東苗穂店 ☎011-783-2811
- ◆月寒支店 ☎011-851-6121
- ◆東札幌店 ☎011-823-2311
- ◆大曲店 ☎011-377-5611

札幌トヨタの中古車在庫を簡単検索

室蘭・小樽 苫小牧・岩見沢地区

- ◆室蘭支店 ☎0143-43-1111
- ◆伊達店 ☎0142-23-4334
- ◆小樽支店 ☎0134-23-5211
- ◆余市店 ☎0135-23-8581
- ◆恵庭店 ☎0123-32-3171
- ◆夢似支店 ☎011-621-1111
- ◆西野店 ☎011-665-3111
- ◆八軒店 ☎011-641-6511
- ◆手稲店 ☎011-683-4111
- ◆手稲支店 ☎011-711-7191
- ◆新道店 ☎011-784-7211
- ◆新琴似店 ☎011-763-8811
- ◆岩内店 ☎0135-62-2626
- ◆倶知安店 ☎0136-23-3111
- ◆苫小牧支店 ☎0144-84-3333
- ◆糸井店 ☎0144-74-7171
- ◆石狩店 ☎0133-74-3201
- ◆白石支店 ☎011-864-1171
- ◆北郷店 ☎011-875-3111
- ◆厚別店 ☎011-898-1111
- ◆千歳店 ☎0123-26-3345
- ◆藻岩店 ☎011-581-3151
- ◆江別店 ☎011-382-2114

中古車センター

- ◆宮の沢店 ☎011-669-1111
- ◆T-ZONE南郷店 ☎011-864-4711
- ◆室蘭支店中古車課 ☎0143-43-1111
- ◆苫小牧支店中古車課 ☎0144-84-3333

いつでもどこでも 気軽に簡単に 試乗予約!

スマホで簡単予約!!



メーカー系販売店協会

道内トップに聞く

年間最大の需要期である年度末商戦の本番を控え、盛り上がりを見せる道内新車販売市場。今年も自動車税環境性能割廃止の影響で、4月以降の登録を希望するユーザーも増えているが、税負担の軽減は需要喚起への追い風になることは間違いない。例年とは異なるスタートを切った2026年の新車市場の見通しについて、自動車メーカー系販売店協会の道内トップに聞いた。

夢のある「モビリティ社会」実現に向けて

今年(2025年)の除軽市場は全国・北海道とも前年比101%と、メーカーの生産制約の大きかった前年を大きく上回ったものの、23年比では全国が96%、北海道は93%と、依然として供給面に課題の残る一年となった。こうした中でトヨタは、これも全国・北海道とも前年比104%と市場を上回る台数を販売し、占拠率においては北海道は54.3%と引き続き全国(50.9%)をけん引する形となった。26年の市場環境については、暫定税率の廃止や新年度税制改定による自動車ユーザーの税負担軽減が追い風となる一方で、新車価格や金利の上昇などクルマ関連費用の増加、さらにはレアアース・半導体の供給問題や為替変動など下振れリスクも残るため、除軽市場としては全国も北海道も、おおむね前年並みか微増レベルの市場規模を前提に動いている。北海道に焦点を絞ると、昨年、北海道の人口が498万人と1957年以来68年ぶりに500万人を割り込むなど、過疎化と高齢化が加速しており、将来を見据えた販売・整備・物流網の維持は引き続き大きな課題と

認識している。一方で未来への夢を感じること。1月23、25日に大和ハウスプレミストドームで開催された「ジャパンモビリティショー札幌2025」には大変多くのクルマファンが集まった。私も札幌が記録的な大雪となった25日に行ってきたが、JRが止まり高速道路も閉鎖という悪天候の中にも大勢のお客さままでにごわごわと会場に集まり、同時に、昨年初の暮張りの東京オートサロンと変わらぬ大きな熱量を感じた。もちろん、これはメーカーのこれまでの「魅力ある商品づくり」のおかげではあるが、メーカーが「クルマの楽しみ」や「未来のモビリティ」を夢を持って示すのであるなら、われわれ販売店はそのような楽しい「クルマのある生活」や夢のある「モビリティ社会」を、一人でも多くのお客さまに提案して実現してゆくの大きな責務でもある。トヨタ自動車販売店協会北海道支部は、本年もこうした夢と気概を持って、将来の課題にも目の前の問題にも真正面から取り組み、地域のお客さまに寄り添っていかねばと考えている。

トヨタ自動車販売店協会
北海道支部

大島 光太郎支部長
(ネットトヨタ苫小牧社長)



今年の市場は微増レベル想定

認識している。

将来の課題にも
目の前問題にも

eパワー搭載車 体験機会増やし利点周知へ

新型効果生かし
巻き返しへ

2025年はメーカーの経営や生産体制に関する大きな動きもあり、世間の耳目を集めた。その結果、新規顧客との接点づくりが難しかった会社も多いのではないかと、厳しい環境にあった中でも、取引を継続してくれている顧客の大切さを痛感した。秋には「ルークス」のモデルチェンジや「ジャパンモビリティショー」で新型「エルグランド」が発表された。注目モデルの登場を契機に来店客数も回復傾向にあり、巻き返しを期している。

普及の鍵は
電欠不安の解消

他メーカーも含めたモーター駆動モデルのラインアップ拡充は、雪国の安全運転において歓迎すべきことだ。一方で、バッテリーEVの普及にはまだ課題が残る。生活圏で上手に使用できるお客さまは一定数いるものの、特に冬場の遠出での電欠不安がなくなればさらに普及するだろう。カセット式のバッテリーを搭載できるモデルや、緊急時に発電できるレンジ・エクステンダーを選べるモデルを期待している。

今年(2025年)の除軽市場は全国・北海道とも前年比101%と、メーカーの生産制約の大きかった前年を大きく上回ったものの、23年比では全国が96%、北海道は93%と、依然として供給面に課題の残る一年となった。こうした中でトヨタは、これも全国・北海道とも前年比104%と市場を上回る台数を販売し、占拠率においては北海道は54.3%と引き続き全国(50.9%)をけん引する形となった。26年の市場環境については、暫定税率の廃止や新年度税制改定による自動車ユーザーの税負担軽減が追い風となる一方で、新車価格や金利の上昇などクルマ関連費用の増加、さらにはレアアース・半導体の供給問題や為替変動など下振れリスクも残るため、除軽市場としては全国も北海道も、おおむね前年並みか微増レベルの市場規模を前提に動いている。北海道に焦点を絞ると、昨年、北海道の人口が498万人と1957年以来68年ぶりに500万人を割り込むなど、過疎化と高齢化が加速しており、将来を見据えた販売・整備・物流網の維持は引き続き大きな課題と認識している。一方で未来への夢を感じること。1月23、25日に大和ハウスプレミストドームで開催された「ジャパンモビリティショー札幌2025」には大変多くのクルマファンが集まった。私も札幌が記録的な大雪となった25日に行ってきたが、JRが止まり高速道路も閉鎖という悪天候の中にも大勢のお客さままでにごわごわと会場に集まり、同時に、昨年初の暮張りの東京オートサロンと変わらぬ大きな熱量を感じた。もちろん、これはメーカーのこれまでの「魅力ある商品づくり」のおかげではあるが、メーカーが「クルマの楽しみ」や「未来のモビリティ」を夢を持って示すのであるなら、われわれ販売店はそのような楽しい「クルマのある生活」や夢のある「モビリティ社会」を、一人でも多くのお客さまに提案して実現してゆくの大きな責務でもある。トヨタ自動車販売店協会北海道支部は、本年もこうした夢と気概を持って、将来の課題にも目の前の問題にも真正面から取り組み、地域のお客さまに寄り添っていかねばと考えている。

日産自動車販売協会
北海道支部

杉本 亘支部長
(札幌日産社長)



道内保有乗用車の電動車比率



HV
2割超える

道内のEV・ハイブリッド登録車両台数	札幌	函館	旭川	室蘭	釧路	帯広	北見	全道
EV	1,968	245	422	297	230	473	199	3,834
前年比	112.3	110.4	106.3	110.0	106.0	104.0	0.0	109.5
登録車に占める割合	0.2	0.1	0.1	0.1	0.1	0.2	0.1	0.2
ハイブリッド車	264,046	36,397	58,952	52,345	32,297	39,385	26,915	510,337
前年比	109.7	108.8	107.6	107.4	108.0	108.3	108.4	108.9
登録車に占める割合	22.4	20.8	19.3	21.5	19.0	18.9	17.4	21.0

※単位:台、%、ハイブリッドはガソリン・軽油・その他の合計、軽自動車を除く

北海道内の登録車保有台数に占めるハイブリッド車(HV)の割合が2025年12月末の道内HV保有台数は51万3,377台となり、前年同月末に比べ台数ベースで4万1,626台、率で8.9%増加した。登録車に占める割合は1.8%増の21.0%に上昇した。管内別のHV比率は札幌が1.9%増の22.4%で、全道平均を上回るなど需要が旺盛だった。比率が高い順に、室蘭21.0%

12月末現在 EVも0.2%に拡大

電気自動車(EV)は同9.5%増の38,334台だった。伸長率は24年(11.1%)を下回ったが、保有全体に占める割合は0.2%と、前年に比べ0.1%上昇した。管内別では札幌と帯広は0.2%となった。寒冷地の北海道は全国平均と比べEV比率が低いが、札幌市内に海外ブランドのEV販売店が誕生し、国産メーカーもEVの認知度向上に注力するなど、普及への取り組みが加速している。

地道に來場促進・試乗勧め新型の受注拡大

北海道ブロックホンダ会の2025年1~12月の新車販売実績は前年比10・7%減の2万1911台だった。生産台数が増え、受注残の解消が進んだ24年に比べ、マイナスだったのが、23年と同レベルの実績となった。

ここ最近では、ホンダから電気自動車(EV)の新車が出てきているが、四輪駆動(4WD)の設定がない。北海道は寒冷地のため、4WDの需要が大きい。EVに関しては、なかなか思うような販売にはつながらっていない。EV以外でも4WDの設定がない車種もあり、これも北海道として苦戦した一因と考えている。

26年はEVで車種の新型車投入計画がある。軽乗用車N-ONE e:(エヌワンイー)ベースの「スポーツ」モード、5人乗りで、航続距離が長い登録車だ。いろいろなお客さまに新型EVを試乗していただきたい。

2月発売の新型「CR-V」は4WDを設定している。新型車を目当てに來場するお客さまが増えると思うので、受注拡大を期待している。

当会の26年の新車販売台数は25年並みを見込んでいる。これまでと同様に地道に頑張る取り組み。新型車やマイナーチ



ホンダ自動車販売店協会
北海道ブロックホンダ会
高田 靖久 会長
(ホンダカーズ札幌中央社長)

4WD設定のCR-Vに期待

エンジンモデルを中心に店頭來場を促進し、お客さまに展示車を見て、試乗してもらったことを実践する。既存車種でも代替促進を図りたい。

整備を含めパラス良く収益を

当会ではテレビCMを協力して放映している。現在は新車購入特典の用品プレゼントのほか、残価設定型クレジットや低金利ローンなど販売会社共通の取り組みをウェブ広告も含めて訴求している。これらの來場促進策は継続して行っている。

新車と中古車のお客さまの点検・車検や保険を確保し、整備入庫を促進することで、経営基盤となっているサービスや保険手数料など、バランス良く収益につなげていくことが重要だと考えている。また、サービスで来店されたお客さまにも代替や紹介の提案を行う。

当会では残価設定型クレジットやサブスクリプション(定期利用)サービス「楽々くる」や「サブス」(楽々くる)などを中心に新車販売を推進しており、以前に比べ利用率が高まっている。これらの支払いが満期を迎えるお客さまへの提案も強化する。新型車の有無にかかわらず取り組む活動を今以上にしっかりと行い、新車から始めるサイクルを途切れさせないようにしたい。

評価高い期待の新型CX-5などで反転攻勢

商品価値をしっかりと理解して

2025年1~12月の道内の新車販売台数は18万7千台で、前年比10・3%だった。伸びたとは言っても25年の19万8千台と比べると1万台も下回っているだけに、本格的な需要回復とはみていない。

マツダは前年比で微増だった。SUVを中心に商品力への評価を安定的にいただき、ブランドとしての存在感を高められたのは成果だ。

市況については、財布の紐が少し固くなっており、物価上昇や金融の動向もあるため、購入の検討が少し長期化する傾向がみられる。車両価格や維持費に対する慎重な姿勢がより強まっている。短期的な販売成果よりも、お客さまとの関係強化にしっかりと取り組むことを重視した一年だった。

26年は、需要変動にかかわらず、きちんとお客さまに選ばれる理由をどれだけ明確にできるかが問われる重要な一年だ。来期はよりよい新型「CX-5」が導入される。初代並みのブームになるように導入には力を注ぐ。お客さまから「マツダは好調だ」と言われるような反転の年にしたい。

新型CX-5については、特に価格競争力があると考えている。ジャパ

役割増す中古車 最適解を提案

中古車事業に関して、今まで通り小売りを強化し、しっかりとお客さまとつながりを図っていく。特に将来の新車需要の源泉として、中古車の役割は重要になってくる。新車から中古車の二者択一ではなく、お客さま一人ひとりの生活環境や使い方に合わせた最適解をしっかりと提案できるように取り組む。

今後は営業においても、デジタルを活用したさまざまな提案や、最終的にはお客さまに丁寧な寄り添った接客を強化したい。これからのディーラービジネスの競争力は、接客対応を強化することになると思う。お客さまから困りごとを相談される存在となり、選ばれ続けるディーラーになりたい。

全国マツダ販売店協会 北海道・東北支部 **横井 隆** 支部長 (北海道マツダ社長)



らしい、モデル増加 選ばれるブランドに

年度内登録を 意識した商談を

2025年は「アウトランダー」や「トヨタ」や「デリカミニ」といった三菱自動車らしい車が増えてきた。ブランドイメージが少しずつ回復する中で、良い一年だったと感じている。良い車が発表され、順調に進むことができた。

26年の見通しだが、メーカーが米関税の影響を相対受ける中で、海外は為替の課題などもあるため、国内に集中する向きがある。その中でわれわれがどうやって生きていくかがテーマだ。

三菱自からは国内については店舗投資をしっかりとやってほしいという要望があった。新型デリカミニと26年型の「デリカD:5」をいかに拡販するかが重要だ。

自動車税環境性能割の廃止で、4月以降は車の購入を検討するお客さまが出てくる可能性がある。われわれにとって追い風になるが、各個人がどうやって3月に多くの車を登録するかが力点を握る。個社ごとに考え方は違ってくると思うが、かなり意識して商談をしている。

三菱自は国内販売目標を25年の13万台に対し、26年は14万台に設定して

丁寧な寄り添った 接客を強化

中古車は現在、高値安値で推移している。いかに新車販売時の下取り率を上げ、中古車事業でメリットを出せるかが課題だ。新車販売では残価設定型ローン「スーパーマイカープラン」の提案を強化する。三菱ユーザーの代替サイクルは現在8・8年だが、4年未満に引き下げることが意識して取り組む。スーパーマイカープランの利用率を上げることで、中古車事業の安定化につなげたい。



三菱自動車販売店協会
北海道支部
鈴木 修士 支部長
(帯広三菱社長)



Photo: CR-V e:HEV RS BLACK EDITION ■仕様ならびに装備は予告なく変更することがあります。あらかじめご了承ください。

CR-V e:HEV

2026年2月登場予定。

先行情報サイトはこちら



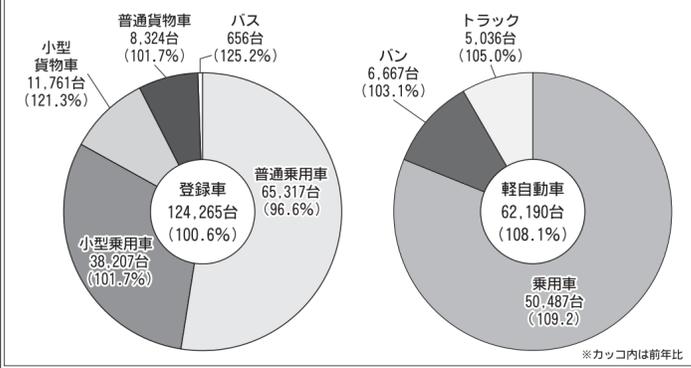
<https://www.honda.co.jp/CR-V/new/>

カーディーラーからカーライフパートナーへ。 私たちは、Honda Carsです。

- Honda Cars 函館中央
- Honda Cars 道南
- Honda Cars 札幌西
- Honda Cars 小樽
- Honda Cars 帯広
- Honda Cars 西釧路
- Honda Cars 旭川
- Honda Cars 南北海道
- Honda Cars 南札幌
- Honda Cars 北海道
- Honda Cars 滝川
- Honda Cars 釧路
- Honda Cars 北見
- Honda Cars 西函館
- Honda Cars 札幌中央
- Honda Cars 小樽中央
- Honda Cars 帯広中央
- Honda Cars 釧路北
- Honda Cars 遠軽



2025年 全道新車販売車種別構成比

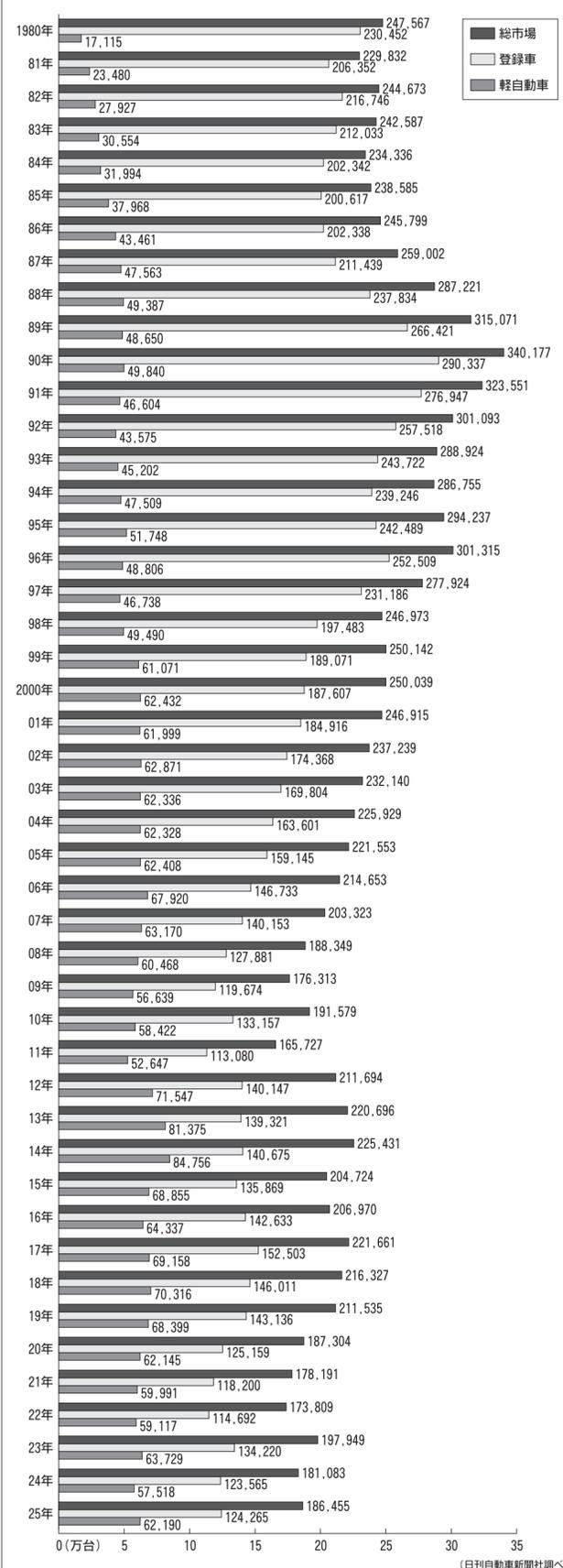


2025年 全道メーカー別新車登録・届け出数

項目	トヨタ	日産	ホンダ	三菱	マツダ	スズキ	ダイハツ	スバル	いすゞ	日野	三菱ふそう	UDトラックス	輸入車他	合計
登録車	38,679	5,190	8,223	2,429	2,169	2,744	527	2,967	1,409	1,338	774	444	5,828	72,721
軽自動車	106.9	90.5	82.7	104.4	104.6	88.2	214.2	109.7	115.4	100.8	103.8	137.5	104.9	101.7
合計	53.2	7.1	11.3	3.3	3.0	3.8	0.7	4.1	1.9	1.8	1.1	0.6	8.0	100.0
シェア	74.7	2.4	11.3	3.3	3.0	3.8	0.7	4.1	1.9	1.8	1.1	0.6	8.0	100.0
前年比	111.3	85.4	101.0	93.3	92.7	101.0	168.8	160.1	-	-	-	-	-	111.6
シェア	2.4	7.8	20.7	5.7	3.0	27.7	0.8	-	-	-	-	-	-	100.0
前年比	39.426	7.590	14.621	4.187	3.098	12.651	9.907	8.562	245	-	-	-	-	30.947
前年比	107.0	88.9	89.8	99.5	100.7	97.9	170.9	112.4	115.4	100.8	103.8	137.5	104.9	104.5
シェア	38.0	7.3	14.1	4.0	3.0	12.2	8.8	3.1	1.4	1.3	0.7	0.4	5.6	100.0
前年比	7,036	1,106	992	313	451	589	103	511	267	257	108	88	922	12,743
前年比	100.2	85.4	72.3	76.2	122.2	80.4	194.3	113.8	130.2	98.5	76.1	90.7	118.8	96.7
シェア	55.2	8.7	7.8	2.5	3.5	4.6	0.8	4.0	2.1	2.0	0.8	0.7	7.2	100.0
前年比	201	891	1,082	356	264	2,576	1,947	56	-	-	-	-	5	7,378
前年比	128.8	88.7	104.9	101.1	100.0	92.9	149.4	193.1	-	-	-	-	-	106.7
シェア	2.7	12.1	14.7	4.8	3.6	34.9	26.4	0.8	-	-	-	-	0.1	100.0
前年比	7,237	1,997	2,074	669	715	3,165	2,050	567	267	257	108	88	927	20,121
前年比	100.9	86.8	86.3	87.3	80.3	151.2	118.6	130.2	98.5	76.1	90.7	90.7	118.9	100.1
シェア	36.0	9.9	10.3	3.3	3.6	15.7	10.2	2.8	1.3	1.3	0.5	0.4	4.6	100.0
前年比	2,739	399	329	98	175	282	71	178	149	79	65	77	538	5,179
前年比	99.4	99.8	66.3	77.8	110.1	92.8	244.8	71.2	125.2	82.3	83.3	142.6	135.2	98.4
シェア	52.9	7.7	6.4	1.9	3.4	5.4	1.4	3.4	2.9	1.5	1.3	1.5	10.4	100.0
前年比	87	196	284	171	121	1,447	1,129	31	-	-	-	-	0	3,466
前年比	147.5	76.9	99.0	104.3	78.6	89.6	129.2	110.7	-	-	-	-	-	100.9
シェア	2.5	5.7	8.2	4.9	3.5	41.7	32.6	0.9	-	-	-	-	0.0	100.0
前年比	2,826	595	613	269	296	1,729	1,200	209	149	79	65	77	538	8,645
前年比	100.4	90.8	78.3	92.8	94.6	90.1	132.9	75.2	125.2	82.3	83.3	142.6	135.2	99.4
シェア	32.7	6.9	7.1	3.1	3.4	20.0	13.9	2.4	1.7	0.9	0.8	0.9	6.2	100.0
前年比	3,441	450	434	75	217	407	84	351	197	78	51	95	501	6,381
前年比	104.2	93.6	70.2	105.6	108.0	91.7	200.0	75.0	120.1	78.8	47.7	126.7	105.7	97.5
シェア	53.9	7.1	6.8	1.2	3.4	6.4	1.3	5.5	3.1	1.2	1.0	1.5	7.9	100.0
前年比	87	299	393	72	143	1,623	931	106	-	-	-	-	0	3,654
前年比	94.6	99.3	76.0	84.7	84.1	88.7	134.9	160.6	-	-	-	-	-	97.4
シェア	2.4	8.2	10.8	2.0	3.9	44.4	25.5	2.9	-	-	-	-	0.0	100.0
前年比	3,528	749	827	147	360	2,030	1,015	457	197	78	51	95	501	10,935
前年比	103.9	95.8	72.9	94.2	97.0	89.3	138.7	85.6	120.1	78.8	47.7	126.7	105.7	97.5
シェア	35.2	7.5	8.2	1.5	3.6	20.2	10.1	4.6	2.0	0.8	0.5	0.9	5.0	100.0
前年比	3,626	530	601	279	281	380	66	357	257	99	50	112	653	7,291
前年比	109.2	81.7	83.5	88.3	94.9	87.6	206.3	121.8	123.0	69.7	69.4	149.3	102.0	
シェア	49.7	7.3	8.2	3.8	3.9	5.2	0.9	4.9	3.5	1.4	0.7	1.5	9.0	100.0
前年比	65	304	417	385	115	1,541	991	54	-	-	-	-	1	3,873
前年比	147.7	82.6	82.7	90.4	80.4	88.3	146.8	100.0	-	-	-	-	-	97.8
シェア	1.7	7.8	10.8	9.9	3.0	39.8	25.6	1.4	-	-	-	-	0.0	100.0
前年比	3,691	834	1,018	664	396	1,921	1,057	411	257	99	50	112	654	11,164
前年比	109.7	82.0	83.2	89.5	90.2	88.2	149.5	118.4	123.0	69.7	69.4	149.3	110.8	100.5
シェア	33.1	7.5	9.1	5.9	3.5	17.2	9.5	3.7	2.3	0.9	0.4	1.0	5.9	100.0
前年比	6,480	597	630	194	299	449	129	304	446	483	178	183	654	11,026
前年比	100.3	76.7	83.1	53.2	113.7	82.8	230.4	99.7	127.1	227.8	94.7	171.0	110.1	100.4
シェア	58.8	5.4	5.7	1.8	2.7	4.1	1.2	2.8	4.0	4.4	1.6	1.7	5.9	100.0
前年比	191	474	470	224	153	2,426	1,965	74	-	-	-	-	0	5,977
前年比	214.6	78.0	84.1	90.7	92.0	95.3	152.2	132.1	-	-	-	-	-	106.6
シェア	3.2	7.9	7.9	3.7	2.6	40.6	32.9	1.2	-	-	-	-	0.0	100.0
前年比	6,671	1,071	1,100	418	452	2,875	2,094	378	446	483	178	183	654	17,003
前年比	101.9	77.3	83.5	68.3	93.1	155.5	104.7	127.1	227.8	94.7	171.0	110.1	102.5	100.5
シェア	39.2	6.3	6.5	2.5	2.7	16.9	12.3	2.2	2.6	2.8	1.0	1.1	3.8	100.0
前年比	4,973	518	868	109	246	434	121	353	207	111	147	72	765	8,924
前年比	101.8	100.8	83.5	81.3	95.0	98.0	232.7	76.6	110.7	84.7	113.1	126.3	115.2	99.6
シェア	55.7	5.8	9.7	1.2	2.8	4.9	1.4	4.0	2.3	1.2	1.6	0.8	8.6	100.0
前年比	173	357	947	150	209	2,688	2,321	50	-	-	-	-	0	6,895
前年比	98.3	86.9	100.9	102.0	125.9	96.5	159.6	131.6	-	-	-	-	-	112.7
シェア	2.5	5.2	13.7	2.2	3.0	39.0	33.7	0.7	-	-	-	-	0.0	100.0
前年比	5,146	875	1,815	259	455	3,122	2,442	403	207	111	147	72	765	15,819
前年比	101.7	94.6	91.7	92.2	107.1	96.7	162.2	80.8	110.7	84.7	113.1	126.3	115.2	104.9
シェア	32.5	5.5	11.5	1.6	2.9	19.7	15.4	2.5	1.3	0.7	0.9	0.5	4.8	100.0
前年比	66,974	8,790	12,077	3,497	3,838	5,285	1,101	5,021	2,932	2,445	1,373	1,071	9,861	124,265
前年比	104.8	89.2	80.8	93.3	106.0	87.9	215.9	101.8	119.4	107.8	93.8	135.9	108.9	100.6
シェア	53.9	7.1	9.7	2.8	3.1	4.3	0.9	4.0	2.4	2.0	1.1	0.9	7.9	100.0
前年比	1,551	4,921	9,991	3,116	1,934	22,208	17,846	616	-	-	-	-	7	62,190
前年比	120.5	85.5	98.2	94.3	91.6	96.1	157.1	145.3	-	-	-	-	-	108.1
シェア	2.5	7.9	16.2	5.0	3.1	35.7	28.7	1.0	-	-	-	-	0.0	100.0
前年比	68,525	13,711	22,068	6,613	5,772	27,493	18,947	5,637	2,932	2,445	1,373	1,071	9,868	186,455
前年比	105.1	87.9	87.8	93.7	100.7	94.4	159.6	105.3	119.4	107.8	93.8	135.9	109.0	103.0
シェア	36.8	7.4	11.8	3.5	3.1	14.7	10.2	3.0	1.6	1.3	0.7	0.6	5.3	100.0

図表で見る 2025年 北海道市場

1980年以降の全道新車販売台数推移



2025年12月末現在 道内自動車保有台数											出所:北海道運輸局		
用途別	車種別	管内別	道内							前年同月の車両数	前年同月の割合(%)		
			札幌	函館	旭川	室蘭	釧路	帯広	北見			局計	
普通車	普通	自家用	53,742	9,959	20,758	14,633	13,671	20,963	15,499	149,225	149,783	99.6	
		事業用	18,040	2,482	4,430	2,769	2,243	3,100	2,317	35,381	35,742	99.0	
	計	71,782	12,441	25,188	17,402	15,914	24,063	17,816	184,606	185,525	99.5		
	普通引	自家用	310	48	117	206	194	147	95	1,117	1,070	104.4	
		事業用	3,567	315	1,096	2,935	1,437	1,316	586	11,252	11,061	101.7	
	計	3,877	363	1,213	3,141	1,631	1,463	681	12,369	12,131	102.0		
	貨物車	四輪	自家用	86,464	13,027	26,539	18,393	12,634	16,151	12,425	185,633	184,950	100.4
			事業用	1,263	157	302	295	133	160	86	2,396	2,461	97.4
		計	87,727	13,184	26,841	18,688	12,767	16,311	12,511	188,029	187,411	100.3	
		四輪引	自家用	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
事業用			0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0	
計		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0		
三輪	自家用	11	1	1	4	2	5	1	25	24	104.2		
	事業用	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0		
計	11	1	1	4	2	5	1	25	24	104.2			
被牽引車	自家用	1,323	132	362	386	492	409	298	3,402	3,184	106.8		
	事業用	6,022	391	1,258	14,311	3,284	1,825	874	27,965	27,746	100.8		
計	7,345	523	1,620	14,697	3,776	2,234	1,172	31,367	30,930	101.4			
合	計	170,742	26,512	54,863	53,932	34,090	44,076	32,181	416,396	416,021	100.1		
乗用車	普通車	自家用	764	132	219	185	115	158	112	1,685	1,718	98.1	
		事業用	3,047	309	609	495	204	245	253	5,152	5,182	99.4	
	計	3,811	441	828	680	319	403	365	6,837	6,900	99.1		
	小型車	自家用	1,924	385	818	547	337	376	374	4,761	4,750	100.2	
事業用		569	81	94	95	27	41	55	962	937	102.7		
計	2,493	466	912	642	364	417	429	5,723	5,687	100.6			
合	計	6,304	907	1,740	1,322	683	820	784	12,560	12,587	99.8		
乗用車	普通車	自家用	517,222	69,676	122,616	90,087	64,191	78,078	59,015	1,000,885	985,590	101.6	
		事業用	2,941	158	274	111	108	234	88	3,914	3,457	113.2	
	計	520,163	69,834	122,890	90,198	64,299	78,312	59,103	1,004,799	989,047	101.6		
	小型車	自家用	410,173	66,531	103,130	84,718	56,255	66,952	48,511	836,270	860,204	97.2	
事業用		4,491	655	691	434	357	259	282	7,169	7,220	99.3		
計	414,664	67,186	103,821	85,152	56,612	67,211	48,793	843,439	867,424	97.2			
合	計	934,827	137,020	226,711	175,350	120,911	145,523	107,896	1,848,238	1,856,471	99.6		
特殊(殊)用途車	普通車	自家用	25,126	4,497	8,667	6,148	4,609	4,907	4,109	58,063	57,528	100.9	
		事業用	10,308	1,789	2,032	1,920	1,682	1,474	839	20,044	19,968	100.4	
	計	35,434	6,286	10,699	8,068	6,291	6,381	4,948	78,107	77,496	100.8		
	四輪	自家用	2,132	383	605	387	253	350	268	4,378	4,343	100.8	
事業用		277	48	54	16	31	27	18	471	508	92.7		
計	2,409	431	659	403	284	377	286	4,849	4,851	100.0			
三輪	自家用	658	58	109	74	55	33	27	1,014	1,011	100.3		
	事業用	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0		
計	658	58	109	74	55	33	27	1,014	1,011	100.3			
大型特殊車	計	26,667	3,520	10,586	4,825	7,266	11,687	8,489	73,040	71,826	101.7		
合	計	65,168	10,295	22,053	13,370	13,896	18,478	13,750	157,010	155,184	101.2		
登録自動車	計	1,177,041	174,734	305,367	243,974	169,580	208,897	154,611	2,434,204	2,440,263	99.8		
軽自動車	検査対象車	四輪	92,826	28,678	42,445	28,914	21,929	27,014	25,270	267,076	265,857	100.5	
		三輪	9	1	4	3	2	3	2	24	26	92.3	
	計	92,835	28,679	42,449	28,917	21,931	27,017	25,272	267,100	265,883	100.5		
	乗用車	421,802	97,133	125,166	94,983	69,233	80,179	63,605	952,101	943,872	100.9		
特殊用途車	3,637	544	838	503	358	400	407	6,687	6,668	100.3			
合	計	518,274	126,356	168,453	124,403	91,522	107,596	89,284	1,225,888	1,216,423	100.8		
合	計	1,730,295	306,017	483,762	374,184	265,561	321,735	248,797	3,730,351	3,725,954	100.1		

2025年12月 北海道 燃料別自動車保有台数																
用途別	車種別	管内別	燃料別											合計		
			ガソリン	軽油	LPG	電気	ガソリンLPG	メタノール	CNG	ガソリンハイブリッド	ハイブリッド	その他	その他			
普通車	普通	自家用	43,102	96,960	25	13	20	0	0	0	0	0	0	0	1,335	141,850
		事業用	467	22,351	1	10	0	0	0	0	0	0	0	0	6,022	28,892
	計	43,569	119,311	26	23	20	0	0	0	0	0	0	0	7,357	170,742	
	普通引	自家用	636	2,044	1	3	2	0	0	0	0	0	0	0	1	2,688
		事業用	86	3,470	0	5	0	0	0	0	0	0	0	0	54	3,616
	計	722	5,514	1	8	2	0	0	0	0	0	0	0	55	6,304	
	貨物車	四輪	自家用	602,338	58,230	86	1,920	5	1	2	255,760	3,346	10	5,697	927,395	
			事業用	1,263	4,222	2,183	7	33	0	0	2,408	11	1,507	10	7,432	
		計	603,601	62,452	2,269	1,927	38	1	2	258,168	3,347	11,207	5,707	934,827		
		四輪引	自家用	6,259	44,357	41	10	92	0	0	10	349	13	3,380	54,511	
事業用			563	7,753	0	0	0	0	0	13	49	126	2,153	10,657		
計		6,822	52,110	41	10	92	0	0	23	398	139	5,533	65,168			
三輪	自家用	652,335	201,591	153	1,946	119	1	16	256,451	3,409	10	10,413	1,226,444			
	事業用	2,379	33,596	2,184	22	33	0	25	2,458	210	1,507	8,182	50,597			
計	654,714	235,187	2,337	1,968	152	1	41	258,910	3,619	11,917	18,595	1,277,041				
乗用車	普通車	自家用	58	2,892	0	0	0	0	0	0	0	0	0	132	23,167	
		事業用	5,637	20,251	1	1	3	0	0	84	12	0	523	26,512		
	計	5,695	23,143	1	1	3	0	0	84	12	0	523	26,512			
	普通引	自家用	102	415	0	0	0	0	0	0	0	0	0	517		
		事業用	21	369	0	0	0	0	0	0	0	0	0	390		
	計	123	784	0	0	0	0	0	0	0	0	0	907			
	四輪	自家用	92,243	7,073	17	240	1	0	0	35,575	392	0	567	136,207		
		事業用	107	5	455	0	0	0	0	126	0	120	0	813		
	計	92,450	7,078	472	240	1	0	0	35,701	392	120	567	137,020			
	四輪引	自家用	1,009	7,043	10	2	2	0	0	68	4	0	320	8,458		
事業用		82	1,675	0	2	0	0	0	10	6	0	62	1,837			
計	1,091	8,718	10	4	2	0	0	78	10	0	382	10,295				
三輪	自家用	99,033	31,890	28	243	6	0	0	35,732	404	0	1,018	168,349			
	事業用	233	1,582	0	0	0	0	0	14	0	10	453	1,886			
計	99,301	36,831	483	245	6	0	0	35,863	414	10	1,471	170,235				
特殊用途車	普通車	自家用	11,183	36,141	6	2	7	0	0	66	10	0	362	47,777		
		事業用	103	5,721	1	0	0	0	0	1	2	0	1,258	7,086		
	計	11,286	41,862	7	2	7	0	0	67	12	0	1,620	54,863			
	普通引	自家用	215	822	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1,037		
		事業用	18	671	0	0	0	0	0	0	0	0	0	703		
	計	233	1,493	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1,740			
	四輪	自家用	152,706	13,317	13	409	0	0	0	57,730	472	0	1,099	225,746		
		事業用	175	12	280	1	2	0	0	271	0	222	2	965		
	計	152,881	13,329	293	410	2	0	0	58,001	472	222	1,101	226,711			
	四輪引	自家用	1,939	16,864	17	10	253	0	0	136	11	0	733	19,963		
事業用		127	1,745	3	0	0	0	0	9	0	0	198	2,090			
計	2,066	18,609	20	10	253	0	0	144	11	0	931	22,053				
三輪																

道内の中古車動向



厳しい良質車確保

当面はタマ不足続く

2025年北海道中古車小売台数(メーカー別・管内別)

メーカー別	小売台数	前年比
トヨタ	24,153	95.8
日産	4,389	88.8
ホンダ	8,546	94.6
三菱	3,127	94.8
マツダ	3,174	91.5
スズキ	1,534	85.6
ダイハツ	1,954	89.5
スバル	1,399	103.2
三菱ふそう	192	87.3
いすゞ	187	40.3
日野	414	65.7
UDトラックス	223	112.1
輸入車	4,562	111.8
合計	53,854	94.7

管内別	小売台数	前年比
札幌	35,722	97.5
旭川	5,845	90.5
北見	2,168	87.0
釧路	2,456	95.2
帯広	2,812	95.8
室蘭	1,729	92.0
函館	3,122	80.4
合計	53,854	94.7

単位:台、%

カギ握る付加価値の提案

質の高いサービスや新たな買い方

道内中古車オークション企業の総出品台数は前年から4.8%拡大し、28万7500台を記録。全体の成約も7割を超え、高水準となった。会場別の出品は、過去最多を記録したユー・エス・エ

AAは今年も高値推移

ス(USS)札幌会場と札幌オートオークション(SAA)が前年実績を伸ばした。オークション企業は新規会員の獲得や休眠会員

への利用提案を行い、出品確保に奔走する。外部の筋肉質な会場づくりに力を入れている。営業体制の見直しに加え、デジタ

筋肉質な会場づくりに注力

道内中古車オークション企業の総出品台数は前年から4.8%拡大し、28万7500台を記録。全体の成約も7割を超え、高水準となった。会場別の出品は、過去最多を記録したユー・エス・エ

への利用提案を行い、出品確保に奔走する。外部の筋肉質な会場づくりに力を入れている。営業体制の見直しに加え、デジタ

道内中古車オークション2025年実績

	出品台数			成約台数		
	2025年	2024年	前年比	2025年	2024年	前年比
ホンダAA北海道	11,059	12,028	91.9	10,487	11,402	91.9
SAA	15,847	14,805	107.0	11,367	11,219	101.3
USS札幌	169,523	155,853	108.7	118,219	111,039	106.4
TAA北海道	32,527	32,736	99.3	27,231	28,142	96.7
JU北海道	58,544	58,732	99.6	40,296	41,311	97.5
合計	287,500	274,154	104.8	207,577	203,113	102.1

単位:台、%



TAA北海道会場 3月イベント案内

3大クラシックAA 3月12日 開催!!

決算謝恩祭 3月26日

流札時出品料

2,000円!!

※一般会員様対象 ※売切りコーナーを除く

流札時出品料

2,000円!!

※一般会員様対象 ※売切りコーナーを除く

無沙汰会員様 出品賞

※1年以上出品歴のない会員様対象

北海道標茶町 星空の黒牛 しゃぶしゃぶ

出品1台賞

※道内会員様対象

紀州銘菓 福袋 かげろう

出品1台賞

※道内会員様対象

辻利 京茶ラスク 詰め合わせ

3月 月間施策

5日 12日 19日 26日

※諸般の事情によりイベント内容の変更や中止とさせていただきます

月間出品 5台賞

※一般会員様対象

函館 布目 箱館十二単 海鮮珍味12種詰め合わせ

月間皆勤 出品賞

全開催出品でプレゼント!

※一般会員様対象

HOKSIN 北海道クリームスリユレ

新規入会紹介 キャンペーン

ご紹介者様とご入会者様に 賞品プレゼント!

TAA北海道 オリジナル記念品もご用意!

売切りコーナー 流札時出品料

ワンコイン!!

※一般会員様対象

お久しぶり会員様

1社2台 出品料 **無料!!**

※6カ月以上出品歴のない会員様対象

TC出品 ツール 利用で

流札時新規出品料 **2,000円!!**

※一般会員様対象 ※イベント時除く

トヨタ・オート・オークション TAA北海道会場 TEL.0123-28-8700

北海道千歳市東沢1007-190 <https://taacaa.jp/> ※写真は全てイメージです。



JU札幌

近藤昇会長・理事長

2025年は、2年連続となる4万台を突破した。24年と比較すると平場の出品は減少傾向にあったが、規模の大きな開催が好調となった。タマ不足が目立つ中でも青年部がより自発的に活動を展開して連携が強化されたことや、ロータスと提携AAのスタートが実績を拡大できた要因だ。

3年ほど前から青年部との懇親会を定期的に開催しており、組織と活動への理解が深まっている。その結果、全国リレーAAなどJU札幌の主要タイトルが目標を大幅に達成することができた。

台数確保に向けては、新規協会の獲得とオークション利用をしない会員へのアプローチを進めている。



休眠会員に積極アプローチ

積極的に稼働しているオークション会員を中心に、協会への入会提案を行い、25年末時点で12会員が入会した。全国でも上位の実績となっており、年度末に向けて引き続き積極的な提案を行っている。オークション利用促進は、クレジットキャンペーンが行われる際の決起集会などを起点としている。同じ企業でも異なる



部署の担当者呼びかけを行うことで出品につながるケースがある。視点を交えながら幅広い関口から取り組んでいる。

会員の店頭における車両売買の質を高める「適正販売店」の普及も進めている。直近のデータで認証取得店舗は65まで増え、全体の12%まで拡大した。中には自社を過小評価して認証取得への挑戦をためらう傾向もあるが、支援を提供しながら取得率20%を目指している。

26年は組合の設立50周年に当たり、7月には記念AAの開催を予定する。オークションだけでなく金融、小売の指導環境、総務の各委員会を設定する目標達成に取り組み、新たに整備振興会への「JUナビ&トレード」サービスも開始された。整備事業者からの落ち札も増加しており、会員への情報共有で豊富な在庫を留意して好循環につなげていきたい。

ユース・エス・エス(USS)札幌会場

菅田幸康執行役員

ユース・エス・エス(USS)札幌会場は2025年、前年を8.7%上回る16万9523台が出品され、過去最高層年を記録した。成約率も7割近い実績となった。特に1~6月は出品の勢いが強く、前年同期から15.1%増と好調に推移。背景には新車供給の遅延によるタマ不足が継続する中で、為替による旺盛な輸出需要がある。例年、応札の落ち着く年末においても成約率は高い水準を維持した。26年もこれらの状況は続く



年内にデジタル出品95%に

多くの車両が出品される活発なオークション開催に向け、全国のUSS会場では新規会員の獲得に力を入れている。4月末まで入会キャンペーンを実施しており、デジタル出品に対応したインターネット情報システム(CIS・スマートCIS)が3カ月無料で使用できる特典を用意している。また、小規模事業者への丁寧な接点づくりによる出品提案も重要となる。

そのために札幌会場では、出品台数による割戻し金の基準を改定した。これまで年間の出品台数に応じて3段階の基準を設けて選付を行っていたが、基準達成のため期末に駆け込みで出品落ちが集中するケースがあった。改定後は、基準の下限を下げた4クラス構成とし、集計方法を月間に変更した。支援の対象を拡大させ、活発な取引につなげていく。

USSの取り組みとしては2027年4月から出品を完全デジタルに切り替える。出品票の記載を手帳にしながら読みやすさも引き上げて活発な応札につなげていく。今年は本格的なデジタル化に向けた準備段階となり、7割ほどで推移するデジタル出品の割合を年内に95%まで引き上げることを目指す。再出品の際にデジタル出品票の利用を提案するほか、会場内でデジタル出品票作成についての講習会を行う。利用を後押ししていく。



道内AA会場 現状と取り組み方針

札幌オートオークション

土谷治社長

2025年の出品は上方5847台と前年より7.0%拡大した。24年の落ち込みから反動が出た結果となり、成約は24年から微減ではあるものの7割を超えて堅調に推移した。輸出向けのニーズが全体の成約率を支え、高品質な車両を中心に引き合いが高まった。新車の供給遅れの影響で中古車の市場流通規模は完全には戻っていない。ディーラーなどは顧客を優先して従来はオークションに出品していた車両も提案しており、中古車専門店にオークションを利用してもらうことが活発な開催のポイントとなる。円安で輸出需要が高まっているが、為替の影響を少なくできるような員数と既存会員からの出品



営業体制見直し出品2割増

台数をそれぞれ強化していきたい。

ディーラーや自動車販売協会と連携したAAで、整備記録簿を備えた質の高い車両が出品される特色も訴求しながら、営業体制の見直しを進めていく。職員の適正な地域性を考慮した体制づくりに着手しており、新規や休眠会員を含めた利益

用者拡大に向けて接触面積を増やし、会員の新たなニーズにもつなげる。ガソリンスタンドやディーラーの代理店、農協関連の事業者を対象に需要の掘り起こしも図る計画だ。

26年からはシステムを刷新して、後商談への対応や一部コーナーで車両の内装を360度撮影して確認できるようにした。写真は高精細になり好評を得ている。デジタルで効率と利便性を高めながら、対人によるきめ細かいサービスも提供していく。

ここ数年はタマ不足から年間出品台数は落ち込んでいるものの26年は、出品を前年から2割増やすことを目標に据える。年12回開催するNAA北海道に参加する日産販売は、新型モデルの投入も予定しており、中古車の発生にも期待ができるのではないかと、中期的には、使いやすい会場づくりや営業強化策などで年間2万台規模まで回復させる。



TAA北海道会場

小川慎一郎会場長

TAA全体の2025年の出品と成約実績は過去2位の水準を記録し、北海道会場は出品が3万2千台超、成約率は8割を突破した。出品台数は前年から微減となったものの、24年に次ぐ水準となった。

これは、道内の新車需要の分母が他地域より小さいことや、旺盛な輸出需要の高まりでオークションを経ずに海外へ仕向ける傾向が強まった点も要因ではないか。会員からは、タマ不足で小売用車両の確保にも苦慮しているとの声も多く、従来はオークションに出品していた低年式や積算距離の伸びた車両を店頭で展示するケースも増えているようにだ。

出品確保の難しさの1つ



高い検査レベルなど前面に

として、本州では寒冷地仕様の車両がそれほど多くなく、道内のニーズに沿ったタマを集荷することが難しいこともある。基本的には地産地消で新車から中古車へ循環させることが望ましいと考えている。

厳しい環境の中で、TAAならではの検査レベルの高さやボディ下面の撮影画像の提供といった良質な車両の売りに役立つ施策を発信し、より多くの事業者の利用につなげていく。下面撮影は、一部の仕向け地で厳格に状態確認が行われていることや、本州の降雪



エリアで使用された車両を適正に評価できる点が強みだ。システム面では「TCI WebΣ(ウェブシグマ)」の機能改善を継続している。直近は車両検査のしやすさなども見直し、ハードとソフトの両面で利便性を引き上げている。

新年度に向けては、新車の需要が高まる時期となり、中古車の発生増とオークション利用の増加に期待を寄せている。3月には台数の集まる「春まつりAA」の開催を控えており、会場利用が活発になる春から秋の数字を着実に積み上げられるよう準備していく。

特に新規会員の獲得は重点項目となり、入会から会場利用までを後押しできるよう丁寧な営業活動を展開していく。また、メーカーのアライアンスを生かした試みにも力を入れ、道内においても多彩なコーナー展開を実現できるように模索していった。

毎週金曜日は 午前10時セリスタート!!

JU 札幌オートオークション

道内7会場が一つに! 札幌・函館・釧路・帯広・北見・室蘭・旭川

JU サテライトAA

道内どこからでも 全国相場へ!

多彩な外部応札システム

- JUナビ&トレード
- オークネットライブ
- オートサーバー
- アイオーク
- AI-NET(アライ)
- TC-webΣ

札幌地方中古自動車販売事業協同組合 札幌市東区東雁来町259-16 TEL(011)872-5181

3/3(火) 第74回自販連ディーラーAA&SAA札幌

3/10(火) SAA札幌

3/17(火) NAA北海道

3/24(火) 年度末決算感謝記念AA パートI

3/31(火) 年度末決算感謝記念AA パートII

SAA 札幌オートオークション株式会社 TEL:(011)884-0944 http://saa-sapporo.co.jp

